# 第４回江別市学校給食用食器検討委員会 議事録（要点筆記）

１ 日 時　　令和８年７月２８日（火） 午後３時３０分から午後４時３０分まで

２ 場 所　　江別市給食センター元野幌調理場　２階会議室

| | | | |
|---|---|---|---|
| ３ 出席者 | 委 員 長 | 安部 | 由里香 |
| | 委 員 | 金丸 | 剛輝 |
| | 委 員 | 川岸 | 尚史 |
| | 委 員 | 小林 | 道 |
| | 委 員 | 小林 | 周平 |
| | 委 員 | 中井 | 和夫 |
| | 委 員 | 和田 | 陽一 |
| ４ 欠席者 | 委 員 | 杉島 | 琴衣 |

| | | |
|---|---|---|
| ５ 事務局 | 教育部部長 | 佐藤　学 |
| | 教育部次長 | 廣田　修 |
| | 給食センター長 | 三浦　洋 |
| | センター調理場長 | 河村　英邦 |
| | 対雁調理場長 | 井上　滋 |
| | 対雁調理場班長 | 佐藤　浩治 |
| | センター調理場班長 | 平野　恵子 |
| | 業務係長 | 白戸　麻衣 |
| | センター主査 | 新田　雅樹 |
| | 栄養教諭 | 倉田　幾代 |
| | 栄養教諭 | 西濱 多恵子 |

５ 傍聴者 １名

第４回江別市学校給食用食器検討委員会

日時　令和８年７月２８日（火）１５時３０分

場所　元野幌給食センター２階会議室

| | 内　　容 |
|---|---|
| 事務局<br>（三浦<br>センター長） | ただいまから、第４回江別市学校給食用食器検討委員会を開催いたします。 |
| 事務局<br>（三浦<br>センター長） | 当委員会は、設置要綱第５条第２項において、委員の半数以上の出席をもって成立することとなっております。現時点で、８名のうち、７名の出席がありますので、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。 |
| 事務局<br>（三浦<br>センター長） | それでは、次第にそって、進めさせていただきます。<br>次第の３「副委員長選出」についてです。<br>工藤委員がご退任されたことに伴い、副委員長が空席となっております。<br>副委員長は、設置要綱上、「委員の互選により決定する」となっております。<br>副委員長の選出について委員の皆様から、ご推薦やご意見がある方は挙手をお願いいたします。 |
| 安部委員長 | 事務局案があれば提示してください。 |
| 事務局<br>（三浦<br>センター長） | それでは、事務局案を提案させていただきます。<br>副委員長には、前副委員長と同じく江別市 PTA 連合会からのご推薦である川岸委員をご提案いたします。<br>事務局案に対しましてご意見、ご異議がございましたら、お伺いいたします。 |
| 各委員 | 【異議なし】 |
| 事務局<br>（三浦<br>センター長） | ご異議がないようですので、副委員長は川岸委員にお願いすることに決定しました。川岸副委員長は正面の席に移動をお願いします。 |

| | |
|---|---|
| 事務局（三浦センター長） | 改めまして、副委員長からご挨拶をお願いします。 |
| 川岸副委員長 | 【川岸副委員長挨拶】 |
| 事務局（三浦センター長） | ありがとうございます。<br>次に進みまして、次第の４「委員長挨拶」について、安部委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。 |
| 安部委員長 | 【安部委員長挨拶】 |
| 事務局（三浦センター長） | ありがとうございました。<br>これ以降の議事進行につきましては、委員長に交代させていただきます。安部委員長、よろしくお願いいたします。 |
| 安部委員長 | それでは、議事に入る前に、江別市学校給食用食器検討委員会の公開について、事務局から説明をお願いいたします。 |
| 事務局（三浦センター長） | 当市では、審議会等の会議は、支障のない限り公開を原則としており、この会議でも傍聴を認めております。<br>もう１点、会議の議事の概要として、発言の内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承願いたいと思います。 |
| 事務局（三浦センター長） | なお、本日、傍聴者がいらっしゃいますので、入室いただいて、これ以降の議事を傍聴いただこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。 |
| 各委員 | 【承認】 |
| 事務局（三浦センター長） | それでは、傍聴者の方に入室していただきます。 |
| | ―――――― 傍聴者入室 ―――――― |

| | |
|---|---|
| 安部委員長 | 傍聴者の方に申し上げます。<br>委員会の開催中は、静穏に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成、反対の意向を表明するような行為はご遠慮いただいておりますので、ご協力の程をよろしくお願いいたします。 |
| 安部委員長 | それでは次第の５「議題」に入ります。<br>「江別市学校給食用食器」について事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局<br>（井上場長） | 私から説明させていただきます。<br>説明の前に資料の確認をお願いします。<br>・第４回江別市学校給食用食器検討委員会と記載しているカラーの資料<br>・A4 別紙の小林周平委員からの説明資料<br>・同じく A4 別紙の小林道（とおる）委員からの説明資料<br>・別冊資料として「意見聴取の現在までのまとめ」と書かれた資料<br>・同じく別冊資料として「献立会議事前アンケートのまとめ」と書かれた資料<br>こちら、お手元にありますでしょうか？ |
| 各委員 | 【確認】 |
| 事務局<br>（井上場長） | それでは、説明にうつらせていただきます。<br>第４回江別市学校給食用食器検討委員会と記載しているカラーの資料をご覧ください。<br><br>スライドの１　目次ですが、今回の資料は記載の６項目で構成されています。<br>スライドの２　第２回検討委員会の振り返りです。<br>スライドの４から７で、第２回検討委員会における意見をまとめています。<br>・メラミン食器について北海道消費者協会で検査を担当されている小林委員から説明がありました。こちらについては別紙にまとめております。<br>・破損事故においてマニュアルがあるかという確認があり、破損事故に関する対応方法を学校に周知している旨、事務局から回答しています。<br><br>・市としてプラスチック食器に変えたいという思いなのかという確認があり、その前提ではなく、安全安心な食器を検討してもらいたいと事務局から回答しています。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>（井上場長） | ・割ってしまった際の子ども達にかかる負担は大きいという意見がありました。<br><br>・強化磁器は改善されていないのかという確認があり、従来より丈夫な食器が開発されている旨、事務局から回答しています。<br><br>・従来より丈夫な食器のサンプルを実際に委員の方々に確認してもらいましたところ、重さについて意見がありました。<br><br>・米飯は既にプラスチック容器を使用している状況で、食器は陶器でなくてはならないのかという確認があり、容器と食器の違いについて事務局から回答しています。<br><br>・酪農学園大学教授の小林委員から学校給食の食器具の検討という論文の説明がありました。こちらについては別紙にまとめております。<br><br>・食器を検討するうえで、児童生徒の作業及び運搬の負担のみならず、調理員の作業の観点も大切であるとの意見がありました。<br><br>・PEN 食器に変更する流れは一般的で施設を建て替えする場合、多くの自治体でその傾向がある中で、強化磁器食器のままでいくとしたら、その理由は何かという視点も必要ではないかという意見がありました。<br><br>・磁器食器は料理映えするが、プラスチック食器でもデザイン等の工夫により料理映えを向上させることは可能との意見がありました。<br><br>・食文化の児童への伝承については、PEN 食器でも工夫次第で補完できるとの意見がありました。<br><br>・メラミン食器も現在は食器として使用することに問題ないと理解したとの意見がありました。<br><br>・傷から未解明の物質が溶け込む可能性もゼロではなく、プラスチックの場合は長期間使わないことが必要ではないかとの意見がありました。<br><br>・PEN 食器の耐用年数は 10 年位と見込んでいることが多いが、傷ついたりした場合にその食器を除くチェックが大切との意見がありました。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>（井上場長） | ・プラスチックを減らすというSDGｓの動きの中、あえて食器をプラスチックにすることは好ましくないのではないかとの意見がありました。<br><br>・江別市でもプラスチックを減らしたいというのが方針ではないかという意見があり、プラスチックごみ削減を推進しており、食器として長く使う前提であれば、プラスチックごみを過剰に増やすものではないとして、対応策のひとつにプラスチック食器への変更もご検討いただいていると事務局から回答しています。<br><br>　ここまでが、第２回検討委員会の振り返りとなります。<br>　説明を一旦区切らせていただきます。 |
| 安部委員長 | 　（議長から委員に確認）<br>　事務局から説明がありましたが、ここまでで何か質問・意見ありませんか？ |
| 各委員 | 　【意見・質問なし】 |
| 安部委員長 | 　それでは、説明を続けてください。 |
| 事務局<br>（井上場長） | 　続けて説明をさせていただきます。資料の８ページをご覧ください。<br>　第２回検討委員会でご確認のあった、リサイクル方法について調べましたので、報告します。<br>　強化磁器食器ですが、処分する場合、希望する市民や学校等への譲渡が考えられます。この場合、無料にするかお金をもらうか、というのは検討する必要があります。<br>　また、事前に厳重な検品と洗浄、及び「自己責任での使用」「再譲渡の禁止」などに同意してもらう手続きが必要となります。<br>　他のリサイクル手法として、納入業者にリサイクルを依頼する方法があります。<br>　業者では磁器を粉砕して再生原料とし、通常の原料に15%以上配合した再生強化磁器を製造することが可能です。ただし、強度的に落ちることになるので、それを市の給食用食器として利用することはできません。<br>　もう一方、PEN樹脂製食器のリサイクル方法も調べております。<br>　こちらも納入業者からの聞き取りですが、熱可塑性樹脂ブラスト材に加工する。これはPEN樹脂の過熱すると軟化し、冷却すると固まるという熱可塑性の性質を利用して、小さな粒状にして研磨材として使用するものです。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>（井上場長） | また、こちらも原料としてトレイなどのリサイクル商品として再生が可能です。ただ、現時点では同じ食器へのリサイクルは、強度等の問題から行っていないとのことでした。<br>あとは、サーマルリサイクルとして、江別市でもごみ焼却で行っていますが、燃焼の補助材として使用する方法です。こちらは市内業者で固形燃料への加工も行っています。<br>PEN 樹脂製食器は、年間の破損が極めて少量と予測されることから、年毎ではなく、耐用期間満了後に更新する際の対応になると考えますが、この際のリサイクル経費が必要になると思われます。<br>リサイクルについての説明は以上です。<br><br>（議長から委員に確認）<br>事務局から説明がありましたが、ここまでで何か質問・意見ありませんか？ |
| 各委員 | 【意見・質問なし】 |
| 安部委員長 | それでは、説明を続けてください。 |
| 事務局<br>（井上場長） | 続きまして、検討委員会以外からの意見について紹介させていただきます。<br>10 ページをご覧ください。<br>令和８年の第１回定例市議会で食器検討に関して、現在の強化磁器食器が食育面からも有効な、市の特色を生かした優れた食器であるとの観点から一般質問がありました。<br>これに対しましては、これまでの検討委員会で提出した資料や検討の内容を踏まえて答弁を行っております。<br>この一般質問の詳細につきましては、資料下部に掲載しております、QR コードを読み込んでいただくか、四角の中に記載しております言葉を入れて検索していただくと視聴することができますので、よろしければ後日ご覧ください。<br><br>12 ページをご覧ください。<br>令和８年 12 月 11 日から令和８年１月 16 日の期間で「江別市学校給食の在り方」の【基本構想】についてパブリックコメントを実施しております。<br>このパブリックコメントは、食器についての意見を求めたものではありませんでしたが、提出された意見の中に、①プラスチックだと健康が心配　②プラスチック食器に変わることに疑問がある、という内容の２ |

| | |
|---|---|
| | 件の意見がありました。<br>　これに対しましては、食器については当委員会で検討を行います。という回答を行っております。<br><br>　13 ページをご覧ください。<br>　第 2 回検討委員会終了後、事務局では、さらなる児童生徒及び保護者の意見を聴取する必要があると考え、第３回検討委員会として書面会議を開催させていただき、お諮りいただいたうえで、給食センターだよりを発行し、意見を寄せていただく機会を設け、これにより、20 件の意見をいただきました。<br>　今後、どのような対応を希望するかという観点から、いただいたご意見を大きく分けたところ、現行の強化磁器のままが良いという意見が８件あり、理由の多くは「学び」「食育」を重視するというものでした。<br>　また、プラスチック食器に変更した方が良いという意見は９件あり、理由の多くは「安全」を重視するものでした。<br>　あとは、強化磁器でもプラスチック食器でもなく、軽量で衝撃に強い素材であればなんでも良いやステンレス製などの金属の食器はどうだろうか、という意見が３件ありました。<br><br>　14 ページをご覧ください。<br>　給食センターでは、年に３回に分けて、各学校の先生方と献立会議を開催しており、小学３年生、小学５年生、中学２年生の担任教諭を対象に事前アンケートを行い、色々な意見を伺っています。<br>　アンケートの質問に「給食準備や片付けについて（食器や食具、配膳用具など）」という項目があり、過去３年間でいただいた食器に関連した全ての意見を別冊にまとめました。<br>　意見の主な内容は記載のとおりとなります。<br><br>　当検討委員会以外からいただいた意見ということで紹介させていただきました。説明は以上です。 |
| 安部委員長 | 　給食だより等によって周知していただき、色々な意見がいただけたということは非常に参考になることだと思います。<br>　色々な考えが述べられていますので、それを含めて何か質問や意見ありませんか？<br><br>　（議長から委員に確認） |
| 各委員 | 　【意見・質問なし】 |

| | |
|---|---|
| 安部委員長 | 無いようですので進めさせていただきます。<br><br>これまでの検討委員会では、安全を向上させるためには何らかの改善策が必要とされました。<br>改善策として、強化磁器を継続するならば、更に丈夫な強化磁器について検討をする。<br>また、変更するならば、プラスチック食器の中でも、品質的に優れていて、主流となっているPEN樹脂製食器が有効であるという意見がでていました。 |
| 安部委員長 | 今回の資料では、当委員会以外からの意見ということで、たくさんの意見が紹介されています。<br>事務局から説明がありましたが、強化磁器の継続を望む方は、「学び」の効果や「食育」への影響に着目しているようです。<br>また、変更を望む方は割れないという安全性や軽さという使いやすさに着目している模様です。<br><br>これらの意見を踏まえて、今後の学校給食用食器として、強化磁器食器の継続が望ましいか、あるいは変更することが望ましいか、当委員会からの見解を出すにあたり、各委員の皆さまからのご意見を伺いたいと思います。<br><br>金丸委員から順番に意見をお願いします。 |
| 金丸委員 | 対雁小学校教頭の金丸です。<br>この４月に着任をしました。<br>これまで色々な地域で勤務しておりましたが、給食の食器はプラスチック食器で、それが当たり前と思っていたので、江別に来て磁器の食器ということで意外に感じました。<br>だからどうということは無いのですが、この３ヶ月で、やはり割れるということがありました。<br>本校では割れた食器については、安全の面から子ども達に処理はさせていません。担任教諭が新聞紙等にくるんで職員室に持ってきて、配膳員さんに渡し、給食センターにお返しするという流れになっています。<br>ただ、子ども達はやはり自分達で片付けようとする、これは学年が下の子ほどお手伝いをしようとする、その傾向が強いです。<br>その様子を見ていると、割れた食器というのは、やはり危険で、怪我をする可能性が強いと感じました。<br>また、重量がやはり重い。 |

| | |
|---|---|
| 金丸委員 | 子ども達が配膳車で食器等を運びますが、重量が嵩んでいて、廊下の角を曲がったりするときには勢いがついてしまい、低学年の子はブレーキを掛けられない、という場面も見ていることから、食器というのは、やはり軽い方が良いと、私自身は思っています。<br>磁器の食器は割れるということ、重いということで子ども達に危険があるのかな、と感じるところです。<br>プラスチックは、化学物質とか傷によって細菌が繁殖するということを耳にしますが、傷に細菌ということであれば多分磁器も一緒であろうと思いますので、私自身は割れにくく、軽くて扱いが容易なプラスチックの方が、小学校には適していると考えています。<br>恐らく、変更するのが、担任の先生にも歓迎されると思いますが、磁器には磁器の良さもあり、100%プラスチックが良いという訳ではありませんが、私自身の意見、また学校現場を見ていての意見ということで述べさせていただきます。 |
| 川岸委員 | 金丸委員からお話しもありましたが、磁器食器というのは、管理している側からすると、子ども達が割れた食器の欠片を例えば口にしてしまうなどの危険を考えると、やはりプラスチックの方が管理しやすく、子ども達にとっても便利なのかな、と思います。<br>ただ、陶磁器というのは自宅でも使っていることもあり、食育という観点でも、子ども達にとって良い経験になるのかなとも思いますが、時代の流れで、陶器からプラスチックへの変更というのは、自宅でも増えてきていることを考えると、馴染んでいくのではないかとも思います。 |
| 中井委員 | 陶磁器が割れる、重いということですが、前に申し上げた通り、絶対に小学校１年生から中学生まで、同じくプラスチックにしなければならないのか、ということは考えなくてはならない。<br>特に食育の面から考えると小学校高学年から中学生は陶磁器の方が好ましいのではないかと考えます。ただ、多数派の意見は尊重しますが。<br>あと、小林（周平）委員のメラミン食器の説明についてですが、これは新品の状態の食器ということですよね？ |
| 小林（周平）委員 | そうですね。 |
| 中井委員 | 使用していて傷ついたものとか、割れたものの分析とかは無いですよね？ |

| | |
|---|---|
| 小林（周平）委員 | そうですね、無いです。 |
| 中井委員 | 表面に傷がついた場合や破損した場合というのは、このレベルの検査では確認できない部分があり、プラスチックの古くなった部分から未解明の分子などが出るかもしれないということもあるのでしょうか。<br>そこまで考える必要はないということかもしれませんが。<br>そうであれば、プラスチックにするのであれば、長期間使わないことや傷つかないような慎重な扱いをする必要があり、10 年間そのまま使っても何でもない、ということでは無いと思いますが、その辺が心配です。 |
| 和田委員 | 資料の 13 ページの市民、児童生徒、保護者からの意見では磁器が良いか、プラスチックが良いか、意見が半々に分かれており、悩ましいなと思いますが、14 ページの先生方の意見を見ると、ほとんどの意見が、重たい、割れやすいので変えて欲しいと意見になっており、やはり現場の先生方が思っていることは重く受け止めるべきと感じています。<br>個人的な感想でいえば、以前の検討委員会で PEN 樹脂製の食器に触れてみて、そんなに軽すぎもせず、手触りとかも、自分が当初思っていたものとは違い、良いのではないかと思いました。 |
| 小林（周平）委員 | まず、私個人の意見を述べさせていただきます。<br>意見のまとめを拝見して、中々、手厳しい意見が多いなという印象を受けました。<br>食品安全という観点から考えると、割れて、それが原因で例えば口を切ったり、怪我をしたりするというリスクは凄く大きいので、やはり割れにくいタイプの食器、あと扱いやすいというのが一番だと思いますので、個人としてはプラスチック製の食器に変更するのが良いと思います。<br>あと、中井委員から先ほどご指摘のあった意見についてですが、今回、メラミン食器に限定した資料をお出ししましたが、ご指摘のとおり、傷をつけたり、劣化したものの論文や資料を参考にはしていないので、そのような物の場合の挙動というのは、申し訳ないですが、わからないというお答えになってしまいます。<br>ただ、未解明な物質が溶出するというリスクについては、全部が全部、解明されているわけではないですが、食器の場合の科学的な調査で薬剤につけて、どういった物質が分配されるかを溶出試験で確認した結果からは、未知な物質が生成されて、それが体内に蓄積され、健康に被害を及ぼす、ということは、現状では考えられないという認識でおります。 |

| | |
|---|---|
| 小林（道）委員 | これまでの議論の中で給食の特性というところで意見を述べておりました。<br>今回、和田委員からもありましたが、献立会議の事前アンケートまとめで現場からの意見がでたのが非常に大きいのかなと思っています。<br>給食の特性というのは家庭と違って大量調理をしており、多くの人が給食に関わって進めなくてはいけない、というところで、ただ食べて終わりというわけではないということです。<br>その意味で学校現場からの教員の声で、割れにくい方が良い、軽い方が良いという意見が占めていたことは、非常に重要なことだと考えています。<br>磁器食器に関して食育についてはアドバンテージがあるという話がありましたけども、PEN 食器の中でもデザインを変えたりという工夫によりクリアしているというところもあります。<br>食育が低下するかもしれないという想像範囲でのリスクはあるものの、安全性という面で強化磁器における実際の状況の方がリスクが大きいというところで、リスクマネジメントの観点からも、PEN 食器に変更するということが、良いと考えます。 |
| 安部委員長 | 本日欠席されている杉島委員のお考えについて、事務局で何か把握していますか？ |
| 事務局<br>（井上場長） | 欠席された杉島委員と昨日、電話にてお話しができ、ご意見をお預かりしていますので、代読いたします。<br><br>本日は仕事の関係で会議に出席できず、申し訳ありません。<br>前回までの資料と今回の資料を拝見しました。<br><br>個人的な考えになりますが、プラスチックに変更にするのが良いと思います。<br><br>理由は、割れたときの処理のことを含めて、扱いが難しい食器を使う必要が無いのではないか、ということ。<br>また、気をつけていて、悪気がなくても割ってしまうことはあり、その時の子ども達の罪悪感が気になります。<br>食育については、陶器だからできる、プラスチック食器ではできない、ということでは無いと思います。<br><br>このようなご意見でした。 |

| | |
|---|---|
| 安部委員長 | 私も委員の一人として意見を述べさせていただきます。<br>皆さまの意見について、私も同感のところが多かったのですが、現場からもう一つの意見として、最近、天気とか地震などによる災害が多く発生している中で、そういう面で単純に心配している面があります。<br>もし、大きな地震が給食時間に起こったりとか、給食時間ではないにしても給食センターに保管している食器に与える影響とか、そういうことが職業上、気になるところがあります。<br>いま、杉島委員からの意見にもありましたが、食育は陶器じゃなくてはできない、というものでもなく、総合的に考えると割れにくいPEN食器のほうが良いのかな、と考えています。 |
| 安部委員長 | いま、各委員から意見を述べていただきましたが、他に意見を追加したいという方はいらっしゃいますか？ |
| 事務局<br>（井上場長） | 中井委員から確認がありました、傷ついたもの、あるいは割れたものの検査についてですが、10年以上前にPEN樹脂製食器に変更した自治体により、実際に５年及び10年使用した食器の検査を行っており、この検査では健康被害を与える物質は抽出されていない、という事例がありました。 |
| 安部委員長 | ほかにありますか？ |
| 各委員 | 【意見・質問無し】 |
| 安部委員長 | 検討委員会では、各委員からこのように意見をいただきましたが、今後について事務局ではどう考えますか？ |
| 事務局<br>（井上場長） | ご意見ありがとうございました。<br>各委員のご意見から、検討委員会としてはPEN樹脂製食器への変更が良いのではないか、ということでまとまったように受け止めましたが、それでよろしいしょうか？ |
| 各委員 | 【了】 |
| 事務局<br>（井上場長） | それでは、検討委員会からの最終見解として、PEN樹脂製食器への変更を良しとするということで受け止めさせていただき、それを提言書としてまとめ、教育委員会に報告させていただきます。 |

| | |
|---|---|
| 事務局<br>（井上場長） | 提言書につきましては、検討委員会の最終見解の内容で事務局が委員長と相談して、案を作成いたしますが、表現等については、委員長と事務局に一任いただき、案の作成後、皆さまに確認をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか？ |
| 安部委員長 | 事務局から提案がありました。<br>当委員会の最終見解に基づいた提言書をまとめることについては、私と事務局に一任いただき、案の完成後、皆さまにご確認いただくということでしたが、よろしいでしょうか？ |
| 各委員 | 【了】 |
| 安部委員長 | それでは次第の５　議題について終了いたします。<br><br>次に次第の６　その他ですが、委員の皆さまから何かありますか？ |
| 和田委員 | この委員会とは別に在り方検討委員会がありますが、それとの関連性は無いということでよろしいでしょうか。 |
| 事務局<br>（井上場長） | 直接関係はありません。当委員会では子ども達に安全、安心な食器についてを考えていただければ良いと思っており、在り方の行方に左右されるものでは無い、と思っております。 |
| 事務局<br>（井上場長） | あと、もう一点、先ほどの中井委員からのご意見に事務局から補足します。小学校１年生から中学生まで幅広い年代の子ども達が食器を使用しており、年代に応じて異なる食器を使うということはできないのだろうか、ということでしたが、調理現場としてはこれは正直に言って難しいです。<br>食器が混在するという形になり、調理場の作業面や保管場所、食器洗浄機などの機材の面からも、現状では難しく、一律の食器というのが望ましいです。 |
| 安部委員長 | 個別の対応というのが望ましいのでしょうが、江別の給食数が多いことからも厳しいのだろうと理解できます。 |
| 小林（道）委員 | あと、混在していたら割れるリスクというのは、結局、減らないことになりますね。 |

| | |
|---|---|
| 安部委員長<br><br>事務局<br>（井上場長）<br><br><br>安部委員長 | 事務局から、他に何かありますか？<br><br>先ほど申しましたが、提言書について、こちら案ができましたら、皆さまに改めてご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。<br><br>それでは、以上で第４回検討委員会を閉会いたします。<br>本日はありがとうございました。 |